

第2回市少年の主張大会

うるま市代表は 比嘉聖さん・山内愛奈さん



▲最優秀賞に選ばれた山内愛奈さん（左）と比嘉聖さん（右）

9月8日に開催される中頭地区大会への市代表の選考会を兼ねた第2回市少年の主張大会（市青少年育成市民会議主催）が、きむたかホールで開催されました。

大会には市内中学校から12人の代表生徒が参加して熱弁をふるいました。

その結果、演題「命」の山内愛奈さん（石川中・3年）と「ありがとうについて」の比嘉聖さん（高江洲中・2年）が、最優秀賞に選ばれました。

受賞の山内さんは「クラスメートにお礼を言いたい。中頭でも最優秀賞を取りたい」、比嘉さんは「応援をしたみんなにお礼を言いたい。次も精一杯力を発揮し、頑張りたい」と受賞の喜びと中頭大会の抱負を話しました。

夏休みを前に、「青少年の深夜はいかい防止・ちゅらさん運動推進県民一斉行動」市民総決起大会が市民芸術劇場で行われました。

大会には市内から多くの関係者や児童生徒らが参加。知念市長の挨拶、中学、高校、父母代表の意見発表が行われ「青少年の深夜はいかい防止には家庭での家族団らんの場が必要」と訴えました。

また、大会宣言決議後、具志川かつしん太鼓、G-style crewの太鼓演舞、華麗なダンスも披露され、総決起大会へ花を添えました。

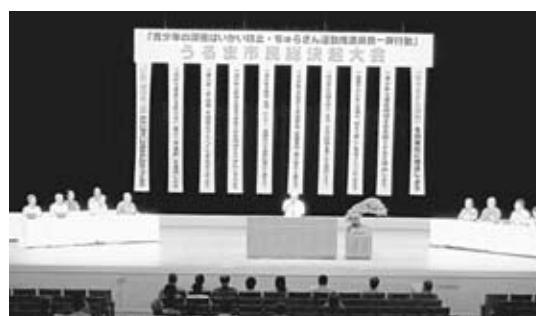


▲G-style crewの華麗なダンス



▲具志川かつしん太鼓の勇壮な太鼓演舞

家族団らんの場必要 「青少年の深夜はいかい防止・ちゅらさん運動」 市民総決起大会



▲市芸での青少年の深夜はいかい防止等市民総決起大会の様子

「つい一杯 鈍る判断 待つ地獄」夏の交通安全県民運動うるま地区出発式



▲夏の交通安全出発式を盛り上げた田場小金管バンドの演奏

7月10日から19日の10日間「つい一杯 鈍る判断 待つ地獄」をスローガンに夏の交通安全県民運動うるま地区出発式が多くの関係者が集い、市総合体育館前で行われました。

比嘉善雄うるま警察署長は「地域の方の協力なしでは飲酒運転や交通事故はうるま市管内からなくなります。協力をお願いします」と飲酒運転撲滅、交通事故防止を強く訴えました。

またアトラクションでは、田場小金管バンド部が運動を盛り上げようと元気いっぱい演奏を披露しました。

7月7日七夕の日にちなんだ笹飾りを市内のやまびこ幼稚園の園児48人や先生、父母などがビオスの丘の招待で来園し、園児それぞれが願い事を書いた短冊を持って、笹に飾りつけをしました。

その後七夕の唄や手話ソングを披露し、集まった観光客や父母などからたくさんの拍手が送られていました。

飾りつけが終わると、園児と父母らは一緒に湖水観賞舟に乗ったり、園内でお弁当を広げたりと楽しいひと時を過ごしました。

お☆さま! ねがいごとがなえてね



▲願い事を書いた短冊を笹につける園児たち